

大和小学校・若宮小学校統合委員会 要点記録

第 14 回

| | | |
|------|--|---|
| 開催日時 | 平成 29 年 2 月 6 日(月) 午後 6 時 15 分～7 時 20 分 | |
| 開催場所 | 区役所 第 10 会議室 | |
| 出席者 | 委員 | 伊藤英男、北村勝、国定明美、関根仁美、稲尾公貴、和泉智乃、大谷正枝、風見尚征、福嶋晴美、林朱実、杉浦聰、長岡知恵、長尾久仁子、石澤美佐紀、堀江政人、佐藤民男、堀聡明、松久保雅和、鈴木優介、板垣淑子、浅野昭 (敬称略、順不同) |
| | その他 | 教育長 |
| | 事務局 | 学校再編担当、子ども教育施設担当 パシフィックコンサルタンツ株式会社 |
| 会議次第 | 【議事】 1 学校指定品について 2 通学路について 3 校旗について 4 校歌について | |

第 14 回 大和小学校・若宮小学校統合委員会 会議要旨

1 開 会

委員長

これより第14回統合委員会を開催する。

本日、傍聴者はいない。前回に引き続き、教育委員会の施設担当者とパシフィックコンサルタンツ株式会社の方が出席している。よろしく願いたい。

委員長

議事に入る前に、報告事項があるとのことなので先に行う。

(1)大和小学校・若宮小学校統合新校校舎等の整備基本構想・基本計画(案)について

■資料「大和小学校・若宮小学校統合新校校舎等の整備基本構想・基本計画(案)について」教育委員会事務局副参事(子ども教育施設担当)から報告(概要)

中野区立小中学校再編計画(第2次)に基づき整備する大和小学校と若宮小学校の統合新校については、平成32年度に新校舎の開設を予定している。

これまで、新校舎及び併設する地域開放型学校図書館、キッズ・プラザに関する基本的な考え方や配置案について検討を進めてきた。

この度、これらの検討結果を大和小学校・若宮小学校統合新校校舎等整備基本構想・基本計画(案)としてとりまとめた。

この案について2月14日(火)に若宮小学校で、2月18日(土)に大和小学校で意見交換会を開催する。また、各地区の町会長会議でも説明する予定である。

○基本配置案

A案 【地上3階建て】体育館南北配置案

- 建築面積 4,380㎡ 延べ面積 9,630㎡
- 校庭面積 3,180㎡
- L字型プランとし、中廊下型を採用している。
- 通学門を北・東側に設置している。
- 高さ制限内に建築する為、校舎棟は階高3.2mとする。
- 普通教室は南、東向きの教室としている。2階14教室、3階13教室+特別支援教室を設け、教室の形状を同じにすることで学年数に応じてレイアウトが可能ないように配慮している。
- 特別教室は、2・3階の普通教室の西、北側に配置する。
- 特別支援学級は、東側入り口付近の1階に配置している。
- 給食室は、既存と同様の配置とし、北側からの搬入としている。
- キッズ・プラザ、開放図書館は直接アプローチできるように南西側に配置する。
- 体育館は1階配置として北西側に配置する。
- プールは校舎棟北東側の3階屋上に設置する。

B案 【地上3階建て】体育館東西配置案

- 建築面積 4,190㎡ 延べ面積 9,640㎡
- 校庭面積 3,280㎡
- L字型プランとし、中廊下型を採用している。
- 通学門を西・東側に設置している。
- 高さ制限内に建築する為、校舎棟は階高3.2mとする。
- 普通教室は南、東向きの教室としている。2階14教室、3階13教室+特別支援教室を設け、教室の形状を同じにすることで学年数に応じてレイアウトが可能ないように配慮している。
- 特別教室は、2・3階の普通教室の西、北側に配置する。
- 特別支援学級は、東側入り口付近の1階に配置している。
- 給食室は、既存と同様の配置とし、北側からの搬入としている。
- キッズ・プラザ、開放図書館は直接アプローチできるように南西側に配置する。
- 体育館は1階配置として北西側に配置する。
- プールは校舎棟北東側の3階屋上に設置する。

C案 【地上3階建て】体育館南北配置案（体育館+図書館併設案）

- 校舎棟 建築面積 2,960㎡ 延べ面積 7,850㎡
- 体育館棟 建築面積 1,190㎡ 延べ面積 1,500㎡
- 校庭面積 3,180㎡
- L字型プランとし、中廊下型を採用している。
- 通学門を北・東側に設置している。
- 高さ制限内に建築する為、校舎棟は階高3.2mとする。
- 普通教室は南、東向きの教室としている。2階14教室、3階13教室+特別支援教室を設け、教室の形状を同じにすることで学年数に応じてレイアウトが可能ないように配慮している。
- 特別教室は、2・3階の普通教室の西、北側に配置する。
- 特別支援学級は、東側入り口付近の1階に配置している。
- 給食室は、北側からの搬入としている。
- キッズ・プラザ、開放図書館は直接アプローチできるように南西側に配置する。
- 体育館は1階配置として北西側に配置する。
- プールは校舎棟北東側の3階屋上に設置する。

C案は、1階毎の延べ床面積を9,000㎡以下にするために校舎棟と体育館、図書館棟を離して配置している。しかし、図書館が2階建てになっているが2階は校舎とつながっていないため、図

書館に行くには一度1階に降りなければならない。そのため、A案、B案のように校舎と体育館棟をつなげた方が良く考えている。

※詳細は、中野区教育委員会ホームページ「大和小学校・若宮小学校統合新校校舎等の整備について」を参照

<http://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/dept/655000/d023715.html>

委員長

今の説明について意見等あるか。

委員

B案には駐輪場が記載されていないが、どこに配置されるのか。

区担当

基本構想・基本計画というのは、あくまでイメージを固めていく段階である。そのため、この図面は確定したものではなくて、必要な施設については、これからも検討していく。この図面に記載されていないから配置されないということではない。あくまで、このような配置になるというイメージとして考えてもらいたい。

委員

A案、B案では階段の位置が少し違っている。出火元に向かって避難するようなことのないよう避難経路なども考慮してもらいたい。

委員

現在の大和小学校の児童が、どれぐらいの割合で正門や裏側から校内に入っているのかわからないのだが、今後、若宮小学校区域から通学する児童が増えると、川沿いから校内に入る児童が増えると思う。それに対して昇降口が狭いので、そういうところも考慮してもらいたい。

委員

キッズ・プラザは、利用する子どもたちが入れる広さを確保しているのか。

区担当

地域支えあい推進室とも協議して、この広さで大丈夫だと想定している。

委員

配置のイメージということは、これで床面積が確定したわけではないということか。

区担当

現在示している配置案が確定というわけではなく、これからも学校や地域の方などの意見も踏まえて検討していく。

委員

今の段階では、開放エリアや学校エリアなどの大きな枠の配置ととらえれば良いということか。

区担当

そうである。

委員長

何か意見等あるか。A案、B案の大きな違いは体育館の向きだと思う。

委員

もう一つ大きい違いは、児童の動線が川沿いなのか、西側なのかということだと思う。西側は住宅があるので地域住民との関係はあるとは思いますが、通学の安全性を考えると川沿いで車が来すところよりはB案の西側の方が良い気がする。

委員

入り口は人がたまりやすい場所なので、川沿いの道だと交通の邪魔になると思う。西側の敷地をセットバックするなどして、子ども達がたまることのできる場所を確保した方が近隣にも迷惑にならないのではないか。

委員

一度に登下校する子どもの数を考えると、門の開校口の広さを通常よりも広くすれば道路にたまることなく学校内に入れると思う。ただ、開校口を広くすると、セキュリティの問題も出てくるし、門の開閉も人力のため苦勞するので工夫してもらいたい。

委員

今の案は部屋をきっちり組み込んでいると思う。昇降口付近や体育館の入り口、玄関ロビーに少しスペースの余裕があると、避難所になった場合とかの使い勝手が良くなると思う。敷地の問題で難しいかもしれないが考慮してもらいたい。

委員

A案、B案ともに3階の平面図に屋上プールと記載されているが、3階の廊下からプールを見ることができるのか。それとも誰も見られないような状態になっているのか。

区担当

廊下よりプールの方が若干高いと思う。詳細は、今後調整していきたい。

委員

プールは重量があるので屋上に配置することは難しいのではないのか。

区担当

プールは防災上校舎に入れた方が良いと考えている。プールの水をトイレに使えるし、そうしないと、逆にそのための設備を作らなければならなくなる。ただ、東日本大震災のときにかなり揺れたと聞くので、設計の中でどれだけ強度を持たせるか考えていきたい。

委員

三つの案がありC案はデメリットもあるということだが、A案とB案では、どちらの方が良いと考えているのか。

区担当

川沿いの道路は交通量があるが、それほど広い道路ではないので通学の安全性はB案の方が良い。それに、A案は少し校庭側に体育施設が飛び出す形になってしまうのでB案の方が校庭を広くとれる。まだどちらが良いとは決まっていないが、B案にはそういったメリットがある。

委員長

他に何かあるか。なければ、報告を終了して議事に入る。

2 議 事

議事(1)学校指定品について、(2)通学路について、(3)校旗について

委員長

それでは議事に移る。(1)学校指定品について、(2)通学路について、(3)校旗について、事務局から説明をお願いします。

■資料「美鳩小学校の学校指定品等について」、「美鳩小学校 通学路(案)について」、「校旗について」事務局から説明

(概要)

- 美鳩小学校の学校指定品は、体育着上下と水泳帽である。1月に在校生の保護者を対象にサイズ調査を行い、その結果に基づき、開校までには児童に渡すよう準備している。
- 通学路は、一度統合委員会で示しているが、その後も両校で検討し確定したとのことである。来年度以降、統合に伴い通学の安全指導員の時間数を拡充する予定である。
- 校旗が完成した。色は美鳩小学校のスクールカラーのスカイブルーである。

委員長

一括で説明があったが、質問等あるか。校旗は非常にすばらしい出来上がりだと思う。

委員

鳩が羽ばたいている感じがよく出ていると思う。

委員

通学の安全指導員の拡充という話があったが、前期の統合校は一定期間を過ぎると予算が減り保護者で対応するなど学校で考えなければいけないと聞いた。通学区域は縮まるわけではないし、毎年小さい子どもたちが入学するので、長期的な安全確保という観点から考慮してもらいたい。

委員

学校としても通学の安全指導員は要求しており、通常の3倍ぐらいの時間数が配置されるが徐々に減っていくとのことである。しかし、新校舎に移転するため、その時は若宮小学校区域の子どもたちが大和小学校の位置まで通うことになる。そういったことも考慮するよう区に要望しており、区も検討しているとのことだった。

委員

現在若宮二丁目の通学路に防犯カメラがついているが、その道が美鳩小学校の通学路から外れてしまっている。なぜ通学路にならなかったのか。

委員

通学路は、両校PTAと学校で決めた。今までは通学路がたくさんあったので、それを簡略化し、自宅から通学路まで安全で一番近い道を通ってもらうことにした。通学路を簡略化したので、防犯カメラの設置場所とずれているところがある。今後はカメラの移設など、3年半で新校舎に移転することも踏まえて地域の方々と検討していきたい。

事務局

通学路に設置している防犯カメラについては、必要があれば移設することは可能である。学校やPTAなどの意見を聞いて対応していきたい。

議事(4)校歌について

委員長

それでは、(4)校歌について事務局から説明をお願いします。

■資料「美鳩小学校の校歌について」事務局から説明

(概要)

- ・統合委員会の協議に基づき、青島広志氏に依頼していた校歌が、このたび完成した。
- ・歌詞の中には、募集した“校歌の歌詞に入れたい言葉”もいくつか盛り込まれている。
- ・校歌を録音したCDを用意しているので披露したい。

—— 校歌披露 ——

中野区立美鳩小学校校歌

作詞・作曲 青島広志

鳩 鳩 鳩

きれいな鳩が 飛んできた

中野の空から 飛んできた

私たちもみな この場所にやっけてきて

友だちと過ごす 六年の月日を

どんなときも 私たちの家 美鳩小学校

鳩 鳩 鳩

大勢鳩が あそんでる

中野の庭で あそんでる

川のせせらぎの 形が変わっても

みんなの友情は いつも変わらないと

約束しよう 誓いの言葉を 美鳩小学校

鳩 鳩 鳩

ゆうゆう鳩が 飛んでゆく

あしたに向かって 飛んでゆく

もしも黒い雲が ゆく手をはばんでも

私たちは負けない 強く進んでゆく

そのとききくと 思い出す名前 美鳩小学校

委員長

校歌は、制作者の作品だと思うので資料のとおりとしたいと思うがよろしいか。校歌を聞いた感想などはあるか。

委員

校歌の音源を早く周知してもらいたいのだが、どうか。

委員長

3月31日までは両校は存在するので事前に流すよりは、式典などでお披露目した方が良いのではないか。

委員

確かに事前に配るよりは、きちんと披露する場を設けた方が良いと思う。

事務局

今後の予定だが、4月6日の始業式の前に新しい校長が開校宣言をする予定である。また、5月1日には地域の方を招待して開校式を開催する予定である。

委員長

それでは、美鳩小学校の校歌について資料のとおりとし、後日教育委員会へ報告する。事務局はその手続きを進めてもらいたい。

3 閉 会

(1)各委員より一言

委員長

本日は、最後の統合委員会ということで、委員の皆さんよりこれまでの感想や美鳩小学校への期待など、一言ずつ発言してもらいたいと思う。

委員

地域の皆さんと顔を突き合わせて意見を交換できたことが、自分にとっては一番の財産になった。これから統合新校で作りあげなければいけないものがたくさんあると思うので、できる限り協力したい。

委員

私は、協議の中で皆さんとは違う意見を出していた。なかなか受け入れてもらえなかったのは残念だが、そのことで議論が深まり結果としてすごく良い校旗や校歌ができたと思う。これからも皆さんと切磋琢磨しながら良い学校にしていきたい。

委員

4月に若宮小学校の位置で開校し、最終的には大和小学校の位置に移転するが、近隣の方たちが驚くぐらいの人数の子どもたちが来ると思う。近隣の方も含め地域も温かく子どもたちを見守れるようにしていきたい。

委員

地域が子どもたちを守れるよう、自治会の代表として参加させてもらい本当に良かった。何かあったときにこのメンバーが子どもたちを守ってあげられると感じ、委員会に参加できたことがとてもうれしかった。

委員

私は途中からの参加だった。今年度一つ一つイベントが終わっていったが、まだどこか実感がなかった。今日校旗など新しいものを見てみると、いよいよだと思い、少し熱い思いがこみ上げてくる。子どもたちが安心して安全に通えて、毎日楽しく行けるような学校になって欲しい。

委員

委員それぞれの立場と考え方に触れることができ、それが自分自身も考えるきっかけになった。教育というのはサービスではなく、大人としてやるべきことだということを感じた。新しい学校の始まりに携われたことを本当にうれしく思う。

委員

今年度PTAを進めるに当たって、両校の保護者が安心できるよう連携することができた。両校のPTAは新しい学校のために進んでいこうという雰囲気になっている。あと2カ月頑張っていきたい。

委員

今日、校旗を見て、校歌を聞いて、本当に統合新校ができるという実感が初めて沸いた。子どもたちのために一心でやってきて、あつという間だった。本当に楽しく過ごせた。

委員

新たなスタートということで、自分に新たに責任が課せられたと非常に重く受けとめている。私たちは、今後、いつでもすぐに学校をサポートするということを心に置きながら見守っていかなければいけない。

美鳩小学校のパンフレットが配られたが、今まで自分たちが関わってきたものが全て入っていて、すばらしい。今後、大きく羽ばたいて、将来日本を担ってくれるような子どもたちをこの地域から出せるよう見守っていきたい。

委員

一つ一つ話し合っただけのもの、具体的な形になっていき、本当にわくわくしている。新しい学校ができるということは希望だし楽しみである。しかし、通学区域が広がることによる不安もあるので地域で見守っていきたい。以前、地域が一つになることが一番難しいとの発言もあったが、統合委員会でこうやって話し合ったこの地域は一つになれると良いと思う。

委員

新しい学校が誕生することの大変さも味わったし、感動も味わった。今日校旗を見て、関わる事が出来て良かったと思った。学校は、子どもを中心に先生がいて保護者がいる。その周りの地域は学校を支える応援隊でありたい。私も応援隊の一員として美鳩小学校を支えていきたい。

委員

新校をつくることに参加することで、我が子が卒業した学校の歴史を振り返ることにもつながった。保護者にとっても子どもが通った学校は母校になるということを感じることができた。今の1年生から5年生は、統合により大変なこともあるとは思いますが、思い出がより膨らむと思う。

委員

自分の母校がなくなる寂しさと悔しさで複雑な思いがあるまま参加していた時期もあったが、新しい学校をつくっていくことに関わる事ができたのは、非常にありがたいと思った。これが

ら統合する学校のPTA会長に自分が経験したことを伝え、中野区の再編が円滑に進むよう、微力だが協力できたら良いと思っている。

委員

乳幼児保護者ということで、公募で参加した。母校でもあるし、親子で若宮小学校に通っていたので、すごく思い出があり寂しさもある。だが、皆さんで愛情を注げるような新しい学校ができたと思うすごくうれしい。保護者は、統合への不安があると思うが、これだけ愛情込めて地域で支えてつくれた、この美鳩小学校を信じて入学してもらいたい。そのことを乳幼児の保護者に伝えていきたい。

委員

学校を立ち上げるにあたり自分が貢献できるという機会はなかなかないだろうと思い、私も2年半前に公募委員のレポートを書いた。この地域には学校を良くしていこう、地域のつながりを深めていこうという人たちがたくさんいるというのが感じ取れたし、そういうつながりを自分自身もつくることのできたので非常に良かった。

委員

あと二月足らずで閉校を迎えるが、寂しいというのが本音である。だが、この委員会は未来のことを考えていて、本当に前を向いて、この地域の子どもたちのためにどういう学校をつくるのか一緒に話し合えたのは非常に良かった。

美鳩小学校の案内パンフレットを両校で相談して作成したが、統合委員会で話し合ってきた成果を全部盛り込んだ。あと、やまと学級の名称については、保護者、子どもたちから募集して検討し、「あおぞら学級」にしたいと考えている。

委員

皆さんの話を聞きながら、美鳩小学校はたくさんの愛が詰まった学校になっていくのだとひしひしと感じた。先日、新1年生の説明会があったが、120人近くの保護者が参加した。期待と不安があったと思うが、一つ一つ丁寧に説明して理解してもらった。

子どもたちは交流を通じてすでに仲良しになっているので安心して欲しい。教員も交流を深め、円滑に開校を迎えるよう準備を進めている。地域の方も是非学校に来てもらい美鳩小学校を見て欲しい。

委員

私は2年間関わったが、教員になって26年、統合を経験しない教員の方が多いと思う。本当に一から学校をつくっていく現場を見て良い勉強になったし、やはり一つ一つには意味があって、それを教員として理解し、子どもたちに伝えていく必要があるというのを感じた。

委員

昨日、卒業生が結婚の記念に閉校前の若宮小学校の写真を撮りに来た。美鳩小学校にもそのような物語がこれからたくさん生まれていくのかと思うと、開校に関わることができて光栄である。これから始まる美鳩小学校の物語を楽しみに見届けていきたい。

委員

当初、新校舎は大規模改修するという考え方であったが、改築に変更となり果たして間に合うのか心配であったが、何とか示すことができ良かった。今後は設計などが始まるので、またいろいろと意見を聞きながら良い校舎にしていきたい。

委員

本当にこの統合委員会は、委員一人一人から真剣な意見をもらえたと思っている。他の統合委員会にはない活発な議論、真剣な議論をしてもらったと思っている。本当に感謝している。

委員長

この2年間、いろいろな考え方を持つ人たちが一同に集まって開校に向けて進んできたが、皆さんの協力、努力のおかげで成功したと思っている。美鳩小学校の開校によって、子どもたちは今までの世界よりも広い世界が開けると思う。

統合に伴い通学区域が広がることによって、地域では子どもの安全を新たに考えていかなけれ

ばならない。防犯カメラの設置もだが見回りも考えていかなければいけないと思っている。

(2) 教育長あいさつ

委員長

それでは、最後に教育長よりあいさつをいただきたい。

教育長

2年半という長い間であったが、皆さんに真剣に議論してもらい、良い学校ができる運びになり感謝している。担当から逐次報告を受けている中で、美鳩小学校という名前を選定してもらったときは、本当に私も感動したし、良い名前の学校になった。すばらしい学校になると思う。

統合委員会で議論してもらったことを覆して校舎を改築に変更したことで、皆さんからお叱りを受けると思ったが、より良い教育環境が整うと考えている。また、新校舎にはキッズ・プラザや地域開放型図書館ができるので、新しい意味で地域の拠点になると思う。統合委員会は解散するが、今後も美鳩小学校の子どもたちを見守ってもらいたい。

委員長

これをもって、大和小学校・若宮小学校統合委員会を終了する。最後に記念撮影をしたいと思う。

—— 記念撮影 ——